

地域座談会（大誠地区会場） 意見交換記録

と き 平成25年5月14日（火曜日）
午後7時30分から午後9時15分
ところ 社会福祉センター
参加者 6人

番号	項 目	町民等からの意見等要旨	町からの発言要旨
1	避難所の耐震化について	●指定されている避難所には、耐震化されていない施設がある。そのような施設に避難するのは不安である。	●昭和56年以前に建設された施設は現在の耐震基準を満たしていないため、できるだけ避難所から外すようにしています。防災計画は毎年見直しをしており、現在指定されている施設については、今後、見直しを検討します。
2	U字溝の補修について	●原の一番穂波側の排水がよく流れるようU字溝を設置してもらったが、年数経過でU字溝の一部が沈んでいる。	●現地を確認し、対応を検討します。
3	下水道管からの汚臭について	●便器から下水道の汚臭が上がってくる。本管から上がってきているようなので、対応してほしい。	●現地を確認し、原因が下水道の本管であれば、町で対応します。
4	中期財政見通しについて	●平成30年には人口減少、高齢化が一層進むことが見込まれ、財政運営はより厳しくなる。 町が示した中期財政見通しでは、町税・地方交付税・県支出金・町債等の大幅な減額を見込んでおり、歳入合計は18億3,000万円も減る予定である。対して、歳出は人件費等が微増、投資的経費は体育館や公民館等の大幅な改修が見込まれるにも関わらず、5億円の減額、繰出金も特別会計の収支が厳しくなると思われるのに、2億円の減額を見込んでおり、歳出合計は今年度決算と比較して12億6,000万円の減額となっている。平成30年度収支は5億6,000万円の赤字となっているが、このような赤字を数字で示すだけでよいのか。	●中期財政見通しの試算は、評価替による町税の減額や国の交付税減額など計画のあるものは盛り込み、そうでないものは据え置きなどの方法で計算したものです。歳出においても、人件費は国が示した定員モデル化計画に基づいて計算しましたが、投資的経費については、平成26年までの具体的な計画のみを見込み、公共施設の老朽化等に伴う建て替え、修繕等は具体的な計画がないため、計上していません。 財政見通しは、今までと同じことをしていればこのようになる恐れがありますということを示したのですが、こうならないために今後様々な取り組みを行っていかなくてはなりません。

		<p>この赤字をどうするかという町の方針があれば聞きたい。</p> <p>また、この見通しでは甘いと思われるがどうか。</p> <p>人件費が微増しているが、投資事業が減る中、職員の定数をどう考えているのか。</p>	<p>住民の皆さんに関わる各種の補助事業や支援についても抜本的な見直しをしていく必要があります。</p> <p>なお、今後は事業の見直しで不必要な事業を廃止すれば、職員数も減らしていくことが必要です。ただし、新たな行政需要が出てくれば、それに伴って人員配置が必要となるため、175人という職員数がずっと続くものではありません。</p> <p>また、現在、古くなった公共施設の建て替え計画を作成中です。合併特例債等を充当するなどの財源を考えていく必要があると考えています。</p>
5	津波対策について	<p>●大きな地震があった場合、どの程度の津波が発生し、どこまで浸水するのか情報を提供してほしい。自分の居住地の標高が何メートルなのか知りたい。</p> <p>●佐渡沖地震の場合、どの程度の時間で津波が到達するのか。</p>	<p>●3月末に浸水区域や避難所を掲載したハザードマップを全戸配布しています。また、各自治会の公民館や公共施設等に標高掲示板を設置していますので、参考にしてください。</p> <p>北栄町において最大の津波がくると想定されているのは佐渡沖地震です。最大4メートルの津波がくる恐れがあり、大谷や北条地区の東側の自治会の一部が浸水する恐れがあります。あくまでも予測ですので、大きな地震に備えて情報を確認しておいてください。</p> <p>●佐渡沖地震では約3時間(200分)で最大波が到達します。また、鳥取沖地震ではすぐ(数十分)に津波が到達しますが、2メートル程度と想定されており、多くの地域は浸水の心配はないと思われます。</p>
6	当初予算の否	<p>●否決された予算はどのような内</p>	<p>●主な争点は2点ありました。</p>

	決と修正について	容のものであり、どのように修正したのか。	<p>1点目は「風のまちづくり事業」です。当初の内容は各自治会の防犯灯を全てLEDに更新し、電気代を削減することによって自治会の財政負担を減らすというものでした。また、各自治公民館に太陽光パネルを設置し、昼間の電気代を削減するとともに、将来的に売電収入を自治会収入として活用してもらおうというものでした。</p> <p>LEDへの更新については、全てを3年程度で更新するという方針から、自治会と相談し古いものから必要に応じて更新する方法に変更しました。太陽光パネルの設置については、設置に適しているか等の調査を実施し、仕組みづくりを行って、議会や自治会に説明してから実施することとしました。</p> <p>2点目は「同和対策事業」です。現在2か所ずつ隣保館と児童館がありますが、必要なのか。同和対策事業は終結してもよいのではないかとのことでした。</p> <p>将来的には施設を統合するとともに、今後は同和対策事業ではなく人権施策に特化した事業として推進することとしました。</p>
7	由良台場築造150年のPR活動・イベントについて	●由良台場150周年について、単に広報誌掲載やTCC放送だけにとどめず、PR活動やイベントを計画してほしい。	<p>●お台場を中心とした歴史観光ウォーキングやフォトコンテストの実施を検討しています。</p> <p>また、道の駅も20周年ですので、お台場公園や道の駅、青山剛昌ふるさと館等の周辺施設と連携したイベントを実行委員会で検討し、10月頃に実施したいと思っています。</p>
8	個人住宅に蓄	●個人住宅（家庭用）に蓄電池や	●蓄電池は値段が高く、小型風力

	電池や小型風力発電を設置する際の助成について	小型風力発電を設置した場合に助成はしないのか。	発電は音の問題もあるため、今のところ助成は考えていません。 将来的には防災という観点から公民館等への蓄電池の設置について、検討していくこともあると思います。
9	住宅耐震診断と改修について	●住宅の耐震診断は何件が利用したのか。耐震改修した家はあるのか。	●無料診断は 2,3 件実施しましたが、耐震改修した家はありません。